

## ◆「第2回 オペラでよかつぺ 歌でつなぐオペラリレーコンサート」の実施計画

「オペラでよかつぺ 歌でつなぐオペラリレーコンサート」が今年度も実施すべく計画が進められています。「オペラによるまちづくり」事業の一環として、多くの市民、新たな参加者による交流を生み出し、成功させましょう。

私たち「ひたちオペラ合唱団」の活動にとっても重要なイベントです。

その概要が明らかになってきました。今後、詳細が詰められてゆきますが、当合唱団としても最大限の協力と実現への努力をし、充実したステージにしたいと思います。

また、全員の力で、客席を「満席」にしましょう。

\*\*\*\*\*

### 「第2回 オペラでよかつぺ 歌でつなぐオペラリレーコンサート」 プログラム (案)

1. 趣 旨： オペラ事業にかかわる多くの市民及び新たな参加者による交流を生み出し、市民オペラの更なる活性化を目指す。
2. 期 日： 2024年12月15日(日) 14：00開演(予定)
3. 会 場： 日立シビックセンター 音楽ホール
4. 入場料： 一般：1,500円 25歳以下：500円
5. 出演者： ・指揮： 豊原 奏 ・演出： 未定  
・ひたちオペラ合唱団  
・子どもオペラ学校卒業生  
・「オペラのコンサートに出てみよう」参加者(小～中学生)  
・アンサンブル(H響有志)  
・ソリスト(Sop, M.Sop, Ten, Bar)・・・未定  
・劇団コミュニケーション
6. 内 容： オペレッタ《こうもり》・・・第1幕～第3幕 (シナリオ：劇団コミュニケーション)

## ◆ 第60回 日立市民音楽祭開催

連盟加盟団体の自主的活動意欲を高揚させるとともに、相互の親睦を深め、広く市民に音楽の普及を図り、明るいまちづくりに寄与するとの趣旨の基に、下記により開催されます。

当合唱団も、その趣旨に賛同し、参加いたします。また、この機会に団員の増強にも努めましょう。

(1) 日 時： 2024年11月10日(日) 10：30～17：00 (出演時刻：未定)

(2) 場 所： 日立シビックセンター 音楽ホール

(3) 演奏曲： 未定 (演奏時間：6分30秒以内)

## ◆ お知らせ

◇【入団】高橋 和枝(たかはし かずえ)さん (Alt) 7/1付け入団されました。

【入団】清水 優(しみず まさる)さん (Ten.1) 7/1付け、2021年7月以来の再入団です。

皆さん、よろしくお願いいたします。

### 今後のスケジュール

月 日	時 間	会 場 ( )は予定	指揮	ピアノ	内 容
7/14 (日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	山 舘	湯 本	《こうもり》、《West Side Story》楽譜準備
7/21 (日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	杉 原	湯 本	
7/28 (日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	山 舘	阿 部	
8/ 4 (日)	17:00～19:30	中小路交流センター 第4会議室	山 舘	阿 部	練習場所注意!
8/18 (日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	杉 原	湯 本	
8/25 (日)	17:00～19:30	大久保交流センター 4F会議室	山 舘	阿 部	
9/ 1 (日)	17:00～19:30	(大久保交流センター 4F会議室)	杉 原	阿 部	
9/15 (日)	17:00～19:30	(大久保交流センター 4F会議室)	山 舘	湯 本	
9/29 (日)	17:00～19:30	(大久保交流センター 4F会議室)	杉 原	阿 部	

## 私が訪ねた世界のオペラハウス 第58回 ウィーン我が夢の町 ～ウィーンその9～

中川 幸雄

今年の本欄は1月に「米国デンバー」まで着いた後、「ニューイヤーコンサート」や「相山潤平さん追悼」などが続き、「世界のオペラハウス」はしばらく休ませていただきました。振り返ると前回のウィーン行は2018年、ヨーロッパなら「OPERA NOSTRA《椿姫》」直前のパリおよびその周辺が2019年。

その後コロナ禍でヨーロッパなど夢幻しということになり、じっと我慢が続きました。医師からは許可が出たものの今度は私自身の体調問題から大きな制限がかかり、悩み抜いた結果、慣れたウィーン1都市のみ。短期かつ付き添いあり、シルバーカーあるいは車いす利用などの条件での決行としました。

久し振りのウィーンのため、行きたいところも大幅に増え今回は全9日間での次のような計画となりました。

- ① 伝統的大型オペラハウスでの本格的オペラの鑑賞・・・6公演
- ② 観客席数十で個人が運営している小さなオペラ団訪問・・・2団体
- ③ 教会あるいは音楽大学の学生コンサートなどの鑑賞・・・6公演
- ④ ストリートピアノあるいは5月に日立市で開催された大道芸におけるストリートオペラのウィーンにおける状況把握と演奏・・・5か所
- ⑤ 前回不満の残ったウィーンの歴史をより深く理解するための市立博物館の再訪・・・1か所
- ⑥ 私の愛して止まない「カールマン」のウィーンにおける足跡・・・2か所などです。

長い距離を歩けないため、およその所に行って地元の人に聞くという脚で探す方法はとれません。バスやトラムの停留所からの移動距離も10mの単位で測定し移動が可能かどうか検討しては行きましたが、検討すればするほど行きたいところが増え、結果としては「歩けない」ことが理由で毎日1～2か所は訪問を断念しなければならなかったのは残念でした。写真やビデオも撮影量が大幅に減ってしまいました。しかしそれでも「ウィーンはウィーン」です。

「ウィーン」についてはすでに8回以上に渡って連載してきましたが、「我が夢の町ウィーンのオペラ・音楽」の最新状況についてさらに報告して行きたいと思います。

今回、日本製の「シルバーカー」を持参しましたがウィーンの人には珍しいらしく、座面に座っていると寄って来て「Oh, it's practical!」と歓声をあげたり、元エンジニアであったという方は微に入り細に入り覗き込み「Great」とか「Wonderful」「Japan Technology」とか繰り返していました。博物館では「車いす」を借りましたが通路幅や説明文の位置など鑑賞にはまったく不都合のないよう工夫されているのにも感動しました。オペラハウスでも特別扱いでホール入口の近く都合のいい所に置いてください(国立歌劇場)とか、クロークでは必要により自分でも簡単に取り出せる位置に無料で保管してくれる(フォルクスオパー)とかの配慮がなされていました。ただ飛行機のドアでの引き取りの場所やタイミングはもうひとつでした。

まだ日本では使ったことがないのですが、どうなのでしょう？



ウィーンはそれでもウィーンです。  
(観光パンフレット)



ウィーンの中心地  
Stephansdom



大改装なったウィーン中央駅  
(12年前大工事開始直後の雨の夜  
途方にくれました。)

### 翔歌碧空

7月、文月(ふづき、ふみづき)。July(英)、Luglio(伊)。日本における7月7日の「七夕」の行事は元来日本にあった行事ではなく、奈良時代に中国から伝わったものだそうである▼しかし、詩歌を献じたり、書物を夜風に曝したりする風習を自分のものとして取り入れ、文化として醸成してゆくその心の大きさに、日本人としての魅力を感じてしまう▼今号からまた中川さんの連載「私が訪ねた世界のオペラハウス」が再開された。再出発は「ウィーン」。今後の連載を期待したい▼私事で大変恐縮ではあるが、6月の中旬に10日間の入院生活を余儀なくされてしまった。どうやら心臓がその寿命を迎えているらしい。ものの本によれば、すべての哺乳動物の心臓寿命は20億回だそうである。鼠のように心拍数の早い動物の寿命は短く、象のように心拍数のゆっくりした動物の寿命は長い。勿論、個体差はあるであろうが、一つの基準として無理をしないように心掛けて行きたいと思う。(Hm)